

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表: 令和6年2月27日

事業所名 秋田県立医療療育センター

保護者等数(児童数) 91名 回収数 46 名 割合 50.5 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	44	2	0	0	・参加人数が7～8組以上だと窮屈に感じる。 ・パニック等を起こした時に落ち着けるようなスペースが設けられると良い。	・貴重なご意見ありがとうございました。法令を遵守したスペースになっておりますが、活動や場面によっては部屋を分ける等、今後も配慮しながら対応して参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	41	3	0	2	・たまに運動遊びの際、この人数で足りる？と思う時があります。 ・配置数は1対1が理想だがおおむね適切と感じる。 ・配置数は十分に感じるが、専門性まではどれくらいあるか等はわからない。	・貴重なご意見ありがとうございました。職員配置は法令を遵守した人数となっております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	45	1	0	0	・常に整理されており無駄な物がなくすっきりしている。 カードを用いて視覚イメージに役立っていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	45	0	0	1	・コロナのこともあり、消毒を適宜してくれていると思う。 ・教室内か、廊下にコート掛けがあるといいな…	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	45	1	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	36	5	0	4		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	43	3	0	0		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	39	7	0	0	・通園活動においてプログラムの内容(バリエーション)が少なく感じる。 ・色々な活動内容を考えてもらっているとは感じるが、様々な子がいる中で「一律」の部分はあるように思う。 ・子どもの理解度に合っていて良い。 ・気にならない	貴重なご意見ありがとうございます。今後とも子ども達にあった支援ができるよう努めて参ります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	11	11	11	・週1集団教育なので、わかりません。 ・障害のない子との交流はぜひしてみたいと思います。 ・センターでは不要だと思う。 ・(現満3歳児)特定の園に通ってはいないので個人的にはまだ交流はありません。児発センターでも今のところありません。但し、行けてない場合もあります。(休んでしまったりなど) ・なくても大丈夫です。 ・希望していなかったなので満足しています。	幼稚園・保育所と併行通園している方が多く、交流については保護者の方の判断で行っていただいております。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	40	3	0	3	・そこまで考えていないので気にならない。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	41	3	0	2		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング*4等)が行われているか	28	11	0	7	・あれば利用したい。 ・まだそういった機会がない。 ・ペアレントトレーニングの講習は対象者(条件)が決まっているので、あてはまらず。 ・勉強会などで障害の特性について教えていただける機会があるといいと思います。(自分以外の子の障害についても) ・同伴している保護者だけでなく普段来ていない保護者(家の場合は父)に向けた事情や支援内容についての説明や講話、トレーニングの場があると「いきなよ」って言いやすいです。働いている方も休みも取りやすいと思います。療育に同伴している親(など)だけが家族への伝達役になると、任せきり、任されるのが当たり前になりそうで(家内での分担努力も必要ですが)例えば文章やHPで閲覧できるような細かい支援内容(イベント情報じゃなく)や勉強会の内容の公開をしてほしいと思います。	定期的に各専門分野からの保護者勉強会を実施しています。家族支援プログラムとしては、家庭で取り組めるプログラムとしてポスター型早期教育プログラムを取り入れています。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	42	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の方々の情報共有、子供について理解は十分に質問に対してもすぐに解答を得られている。 ・改まって話すことはないが、その都度状況を話し、情報共有が図れていると思う。 ・いつもしょうもない話に付き合ってくださいありがとうございます。 	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談という形はとられていないが助言は求めたときしにくださっている。 ・園とは違い、プロが近くにたくさんいる！すぐ聞ける！ということもあり心強いです。 	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	13	6	15	<ul style="list-style-type: none"> ・障害を持つ親同士の交流、情報交換、意見交換の場がほしい。 ・保護者同士の活動内容や保護者それぞれの考えによって、センターが介入することは難しい面もある。 ・お互いの子供の障害の特性を話したり、分かち合う機会があるといいと思います。 ・PTA的に、Tががっちりからむ親の会であればありがたい。 ・父母会、保護者会の開催はありません。が、同じクラスの保護者の方と話す機会はありますので、個人的に色々な情報を得ることはあります。 ・もう少し保護者の方達とお話したかったです。 ・参加したことがなく、わかりません。 ・デリケートな問題なので、今のまま不介入で正解だと思う。 	保護者会は現在、存続しておりません。クラスの状態に応じ、分離の機会を設け、保護者同士の連携の支援していますが、不十分な点については今後検討いたします。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	39	5	0	2		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43	2	1	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	35	3	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の結果とは…すみません。よく分かりません… 	
非常時等の対応	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	45	1	0	0		
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	39	1	0	6		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	37	2	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に実施しているところを見たことがなく、わかりません。 	防災訓練を毎月1回実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	41	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・イヤイヤな時もありますが、活動してるので嬉しいです。 	
	23	事業所の支援に満足しているか	43	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも寄り添ってくれた先生たちには感謝しています。 ・何より子供が楽しみに通っています。親も同じです。 ・いつも丁寧な対応と相談にのっていただけて感謝しています。 ・いまいちど昼休みのルールなどを周知して欲しいです。 ・ここで全て出来るのでありがたいです。 ・以前トイレで女の子と一緒にいた時、乾布摩擦の着替えなどの際、隣に男の子がいるのもあり目で訴えてきました。小さい子でも女の子なので…。それからトイレは離れたところを使うようにしました。乾布摩擦は冬にパンツでやるのは…ゆっくりゴシゴシやる意味もあるのかと。 	貴重なご意見ありがとうございました。今後とも、事業所を利用される皆様に満足していただける支援ができるよう努めて参ります。

※頂いたご意見はそのまま掲載しておりますが、個人情報保護等の観点から一部変更されているものもあります。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。